

1メイト便り Iメイトって? Internet, 愛, (出) 会いのアイ

タイ・タマサート大学との交流が8月に始まったばかりの2組をご紹介します。DEWさんもエームさんも、若ものの中を素直にIメイトの岸本さん、武田さんに打ち明け、お二人は、それを温かなやさしい手で包むようにお返事を返しておいでです。短い期間にここまで関係を築かれたことに感嘆するとともに、これからますます楽しみです。
(タマサート大学Iメイト交流コーディネーター 森 郁子)



岸本里子さんとラッチャパーワン ネットヌット (DEW) さん

岸本さん→DEWさん (8月30日)
お元気ですか? フェスタは無事終わりましたか? どんな事をするのでしょうか? こちらでは記録的な猛暑が続いています。夏休みを利用して孫達が遊びに来ていましたが、暑い中孫達に付き合っただけで疲れました。ポウリングは40年ぶりにしました。当時のスコアは手書きでしたが、今回は電子掲示板に表示され、終わると印刷して渡してくれます。先日事務局からタマサート通信が届きました。その中にDEWさんが写っていたので、嬉しく拝見しました。

DEWさん→岸本さん (9月15日)
Japan Festa イベントが終わった後、すぐ風邪が引きました。熱は40度があつて、とても大変でした。でも、今は、元気です!! タイで、今、つゆだから、温度はあまり高くなって、今日も29度ぐらいがあるそうです。毎日大雨だから、日本語学科の友達、皆、風邪が引きやすいし、元気ではない顔をしています。岸本さんはポウリングしたこと、すごいなあと思います。私がポウリングしたことはケータイのゲームだけです。(笑)

先週、私の高校生の友達は一人暮らしを始めました。彼と荷物を引っ越しや買い物を手伝ったり、やっぱ大人だと思ったんですが、寂しそうです。私だったら、絶対やりたくないと思ってます。タイの家族はとても親しいし、心配すぎるから、両親はだいたい子供と離れたくないです。これはいいか悪いか分からないですね。ところで、今、私は日本に留学できる奨学金を参加しています。面接できたら、来年、留学生になります。決まった大学は中央大学です。キャンパスは多摩市の所ですが、場所が分からないで、生活できる自信がないです。岸本さんはおススメがありますか?

武田高さんとワニッチャヤー エヤムクナコン (エーム) さん

エームさん→高さん (8月20日)
中学校を卒業したとき、AFSという留学プログラムに参加して、10ヶ月日本に留学しました。読書も大好きです。私の家族は子供の頃からいろいろな本を読んでくれました。大好きなのは「海辺のカフカ」と「冷静と情熱のあいだ」です。(全部タイ語ですが)
AFSで友達ができたが全部女の子でした。日本の女の子と男の子は必要なことしか話さなかった。今でも不思議です。タイの高校生だったら普通に誰とでも話します。

高さん→エームさん (8月21日)
AFSといえば私は高校三年生のときのサマーキャンプで、とても好きなアメリカの女の子ができて、手紙の交換をしましたが、いつの間にか終わっていました。長く友達がいるためには、とても努力が必要ですね。
「冷静と情熱のあいだ」は私も読みました。男女それぞれの視点の違いがすごく面白かったです。二人がフィレンツェで会えなかったのはさびしいことでした。私は以前Duomoに行ったので、本を読んだときは実感がありました。

日本の高校で、男の子の友達はできなかったんですね。その年頃には、男の子は素直に気持ちを表現できないで、同性ばかりで集まったりする傾向があります。これは日本人の若者の特徴でしょうか? もしかすると大学での研究のテーマになるかもしれませんね。
エームさん→高さん (8月28日)
私もサマーキャンプの時、本当に楽しかったけれど、キャンプでできた友達は今全然連絡しません。短い間に会った友達がいい思い出の中だけにあります。
「冷静と情熱のあいだ」二人が会えなかったのはさびしいけど、美しいと思います。私も将来イタリアへ行くつもりです。

認定NPO法人 **アジアの新しい風**

第29号
2010年
(秋)

今年の夏の暑さは異常でした。9月12日の総会、懇親会も暑い一日でしたが会場の青山荘には69名の参加がありました。

総会、懇親会を通じての司会は北京第二外国语学院卒、元Iメイトで日本留学中にアジア風のアルバイト事務員を勤め、現在は東芝勤務の張慧さん。流暢な日本語での名司会はベテランの域。

上理事長代行より「アジア風の財政運営について事業仕分けをお願いしたい」との開会の挨拶があり、続いて役員紹介では、今回退任の井村倫子理事に代わり新たに就任した日置陽子理事の挨拶がありました。議長に奥山理事が選ばれ総会の成立が確認された後、09年度の事業報告、会計報告、監査報告がありました。続いて10年度の事業計画、予算案の説明が行なわれました。事業計画では交流国としてこれまでの中国、タイ、ベトナムの他に、将来新たに韓国を加える方針が発表され、以上が全会一致で承認されました。「派遣教師に係る費用、現地での経費は?」

「認定NPO法人になって何か助成が得られるのか?」などの質問があり、会の運営について会員の関心が高まってきたことが感じられました。



(熱心に講演を聞く会員)

その後、近海において尖閣諸島の問題が起きましたので、先生に「ナシヨナリズムについて」コメントを求めましたところ、「我々の世界は現在もなお、自国の卓越性やユニークさを強調する価値観の延長上にあります。そして今日でも、祖国愛・同胞愛に名を借りて、内外に理不尽な権益をむさぼろうとする国家があり続ける限り(ただしこれは、あくまで国家の支配層・権力者グループのことです)、国民一般の多くは、そうした不当な権力の行使に苦しめられるか、それとも意のままに操られるか、そのどちらかです)、ナシヨナリズムは残念ながら、この世の冷厳な現実の一部であり、ことに防衛的な(膨張的・侵略的の



(川本先生の著書を受け取る最年少の参加者)

わされたいようしたいものです。講演会のあとには会員とゲストを交えての懇親会。今年度のIメイト・オブ・ザ・イヤーには森郁子さんが選ばれ、表彰状と記念品に川本先生の署名入り著書が手渡されました。その他著書3冊は、先生と誕生日が一番近い人、最も遠くから参加した人、最も若い人に手渡されました。ゲストとして、タイのタマサート大学から日本のお茶ノ水大学へ客員教授として来日中のニヤンジャロインスツックスニラット先生の日本語によるご挨拶、また協働するNPO・森びとプロジェクト委員

会事務局の高橋よし子さんからもご挨拶をいただきました(「森びと」は7月に会員有志と留学生が参加した足尾銅山での植林事業を主催)。参加者の皆さんがお茶とお菓子で歓談する間に、会員の杉本茂樹さん編集の写真集がスクリーンに映し出され、杉本典子さんがハノイの貿易大学訪問、小田晋作さんが北京の清華大学訪問、藤原ひさ子さんが留学生支援ネットの活動をナレーション。いずれもIメイト学生との充実した交流が映し出されています。今後の活動参加への意欲をそそるものでした。この日に配られた「Iメイト交流の楽しみ」に登場した会員の紹介、ボランティアとしての会の運営を支えて下さる会員の紹介と、事務局からの感謝も伝えられました。会の運営に大きな力となる寄付はこの日だけで14万円に達しました。皆様のご協力に心からお礼申し上げます。14時から始まった総会、講演会、懇親会は充実した内容で、あつという間に17時の終幕を迎えました。



(スニラット先生)

役員交代について
総会で、左記の役員交代が報告されました。理事辞任 井村倫子さん
年内にカナダへの移住されることになりましたので、任期満了に伴い辞任されました。06年から4年間の貢献を感謝いたします。カナダ渡航後も、会員として、会の活動を支援していただきます。
理事就任 日置陽子さん
タマサート大学の初代派遣教師でした。現在は愛知淑徳大学の助教として社会貢献に関わるお仕事をしておられます。井村さんに代わってタマサート大学との交流、若い役員としてのフレッシュな意見を期待しています。アジア風のさらなる発展に向かって、役員一同頑張りますので、会員のみなさんご支援をよろしく願います。

Iメイト・オブ・ザ・イヤー
09年度の「Iメイト・オブ・ザ・イヤー」は、Iメイト会員で、タマサート大学のIメイト交流コーディネーターである森郁子さん(写真)が選ばれました。上理事長代行から、表彰状の授与と、当日の講演講師・川本皓嗣大手前大学学長からサイン入りの著書「アメリカの詩を読む」が贈呈されました。
森さんは、04年に入会し、積極的に大勢の各

今年度の「Iメイト・オブ・ザ・イヤー」は、Iメイト会員で、タマサート大学のIメイト交流コーディネーターである森郁子さん(写真)が選ばれました。上理事長代行から、表彰状の授与と、当日の講演講師・川本皓嗣大手前大学学長からサイン入りの著書「アメリカの詩を読む」が贈呈されました。
森さんは、04年に入会し、積極的に大勢の各

今年度の夏はかつて経験したことのない異常な暑さが続いて体調を崩された方も多いため、この現象は正に世界的で昨今問題になっている地球温暖化の影響に相違ありません。新聞では絶滅危惧にある動植物が数万種と伝えられていますがいずれ人類にもその累が及ばないという保証があるのでしょうか。アジア風の有志と留学生が森びとプロジェクトに参加して、日本の公害の原点とも云われる足尾銅山あとの山の植林に参加したのは大変有意義でした。

元Iメイトの中国人学生2人と、日本人会員2人で尖閣諸島について話し合いました。お互い知っている情報をすり合わせてだけでも、認識の違いは大きい。先入観を排して虚心坦懐に、というのなかなか難しいが、それでもお互い知らなかったことを知り、近づけたのではないかと、思う。日本人の「自己PRの下手な国民性」は、奥ゆかしさや言葉に表現しない心性を美德とするあまりにそうでない文化圏では通用しない、ということをよく分かった上で、自分の考えを述べる努力をしたい。衆愚にはなるまいと思つた。
(上 高子)

今年の夏は本当に暑かったですね! 9月に入っても暑さは続きもう「うんざり」でした。でもそんなに暑くても、秋の虫がちゃんと鳴き始め、お彼岸前には彼岸花も咲き始め、動植物の能力に改めて感心しました。名古屋で「国連地球生き物会議」が開かれています。世界ではいろいろな懸案が山積ですが、まずは地球温暖化を食い止めることを一番に考えていただきたいものです。
(藤原 玲子)

その交流の様子は、アジア風新聞のIメイト便り、別冊Iメイト便りに何度も掲載されています。その経験が、Iメイト交流コーディネーターとして、Iメイト会員への適切なアドバイスとなり、いかなく生かされています。

「Iメイト交流を通して学ぶことが多く、多文化共生の理念を少しずつ獲得できているように思います」と感想を述べられました。

